

アスベスト受入能力を増強へ

メジャーヴェーナス・ジャパン株式会社（本社：東京都千代田区）の「東京エコファクトリー」（東京都江東区新木場4-2-21）では、2018年1月から、飛散性アスベスト（特管廃石綿）と非飛散性アスベスト（普通産廃）の積替え保管を行ってまいりました。

今後、大気汚染防止法の改正によりアスベスト規制が強化される見込みであることを受け、特に非飛散性アスベストのご要望が増えております。この状況にお応えするために、許可上の積替え保管の上限を60 m³から77.6 m³に増加し、運搬体制を見直すことで、実質的な受入能力をおよそ1.5倍に高めることに成功しました。

■大気汚染防止法のアスベスト規制強化について

予定通りであれば、今国会で大気汚染防止法の改正案が成立し、解体工事におけるアスベスト飛散対策等が強化されます。結果として、これまで見つからずに他の廃棄物に混入したまま処分されていたアスベスト廃棄物が、適正に処理されるものと考えられています。

ところが、特に東京都内の少量発生案件においては、処理施設が遠方のため運搬コストが高くなるという問題があります。このような状況が続くと、意図的にアスベスト廃棄物を見逃すケースも出てきかねません。それを防ぐためにも、安価なアスベスト廃棄物の適正処理ルートの確保が、社会的にも要請されているところです。

■アスベスト処理フロー

東京エコファクトリーでは、袋詰めにより飛散防止策を取られたアスベスト廃棄物を受入れ、三重県にあるグループ会社「三重中央開発」までフルトレーラーなどで高効率運搬し、埋立処分されます。

メジャーヴェーナス・ジャパンは、包括業務提携を結んでいる金属リサイクル業のリバーホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区）と廃棄物処理・リサイクル業の大栄環境株式会社（本社：兵庫県神戸市）の共同出資会社で、設立は2015年12月。「東京エコファクトリー」は2016年11月1日に営業を開始しています。

詳細は、下記のウェブページをご覧ください。

メジャーヴェーナス・ジャパン会社案内ホームページ

<https://www.major-venous.co.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先 【広報事務局】

メジャーヴェーナス・ジャパン株式会社

営業部 堀口昌澄 m-horiguchi@major-venous.co.jp 070-3549-2456